

ふたりに話したい防災のこと 10

避難場所

いろんなケースを考慮しよう！

- ☑ 場所を起点に考える
 - 自宅にいるとき ()
 - 職場にいるとき ()
- ☑ 災害の種類で考える
 - 地震のとき ()
 - 津波のとき ()
 - 大雨や洪水のとき ()



子どもや高齢者がいる場合は、迎えに行く人も事前に話しあっておこう

連絡方法

状況別に連絡手段を決めておこう

- ☑ スマホが使えるとき (例: LINE)
- ☑ ネットが使えない時 (例: 電話)
- ☑ 電話が通じないとき (例: 171)

check!

災害用伝言ダイヤル 171

災害の発生により連絡が繋がりにくい状況になったときに提供される声の伝言板サービス

伝言を残す $171 + 1 + \text{自分の番号}$

伝言を聞く $171 + 2 + \text{相手の番号}$

☎ 171 = あの人「いない」で覚えよう!

避難生活の場所

災害が長期化したとき避難生活をおくる場所を想定しておこう！

- ☑ 自治体の宿泊できる避難所
- ☑ 実家や親戚の家
- ☑ 知人・友人の家 など



check!

避難所と避難場所の違い

- 避難場所 = 身を守るため一時的に逃げ込む先 (公園・河川敷...)
- 避難所 = 自宅以外で避難生活をする場所 (学校・公民館...)

どんな被災リスクがある？

自宅や職場など、普段いる場所の被災リスク (揺れの強さ・浸水・土砂災害) をハザードマップで確認しよう

ハザードマップは各自治体のHPで確認できるよ！



防災グッズの備えはある？

- ☑ 1週間分の食料・水 (1人1日あたり3ℓ)
- ☑ 懐中電灯や簡易トイレ、ラジオなど
- ☑ 赤ちゃんがいる家庭は、おむつやベビーグッズも忘れずに！

Pasobo診断結果から自分たちに必要なアイテムを確認できます！



家の耐震性は大丈夫？

自宅の築年数を確認しよう！
目安として1981年以降の物件は、地震に強い新耐震基準が適用されています。それ以前の物件は倒壊リスクが高いため要注意！



安全な避難経路はどこ？

安全な脱出ルートを確認しておこう！

- ☑ 家の中から外へ出るルート
- ☑ 家から避難所への道順
- ☑ 職場から避難所への道順



老朽化したブロック塀や、川の増水など自宅付近の危険な場所も把握しておくで安心！

必要情報はまとまっている？

緊急事態に必要な 家族の情報をまとめた「SOSカード」を一人1枚作って携帯しよう！

家族を探するとき 写真があると便利

名前/性別/生年月日
血液型
住所/電話番号
アレルギーの有無 ()
持病の有無 ()
障がいの有無 ()

家族写真

パートナーの名前・連絡先

スマホが使えなくても相手の連絡先がわかる

避難のタイミングは？

警戒レベルと避難の目安	Lev.3	Lev.4
	乳幼児や高齢者がいる場合は3で避難	避難指示で全員(必ず)避難



✓ ふたりに合った防災対策がすぐわかる！

簡単・無料でパーソナル防災診断

- ☑ ふたりに住む地域の被災リスク
- ☑ ふたりの暮らしに必要な防災対策
- ☑ ふたりに備えておくべき防災グッズ



CHECK!!

<http://bit.ly/3KCu9mT>

